

## 産業・雇用分野（しごとづくりと所得の向上）

---

### 【取組の方向性】

人口減少が進む中であって、若者・女性の県内定着や人財還流を促進するためには、生活の基盤となるしごとづくりが何より重要です。

本県は、安全・安心で優れた農林水産品、美しい自然、郷土料理や多様な文化・慣習、名所・旧跡や祭り、活用可能な様々なエネルギー資源など、多彩な地域資源に恵まれている一方で、人口減少、高齢化、県民の健康づくりなどの課題を抱えています。

こうした本県の強みや課題を踏まえながら、「アグリ」、「ツーリズム」、「ライフ」、「グリーン」の成長4分野において、地域に根ざした産業の創出・強化と外貨獲得に取り組むとともに、各産業分野で顕在化している労働力不足に対応していくため、労働力の確保と生産性の向上に取り組む必要があります。

また、本県は多くの課題を抱えていますが、言い換えれば、ビジネスによる課題解決にチャレンジできるフィールドでもあります。生き方や働き方に対する価値観が多様化する中で、創業・起業などにより、自分の夢を実現できる青森県づくりを進めていくことが重要です。

産業・雇用分野では、県民が生活の基盤とできる多様な「しごと」にチャレンジし、多様な働き方の選択を可能とするための方向性を示します。

### 【2030年のめざす姿】

#### ○ 成長分野での産業の創出・強化と外貨獲得

##### ① 「世界のブランド」をめざす「あおり「アグリ」」

本県の強みであるアグリ（農林水産業）分野は、地域の中核を担う集落営農組織や法人経営体などが中心となり、農協・漁協などと協働し、地域全体の発展という視点から担い手育成やコミュニティ機能の維持などを行う「地域経営」が推進されており、持続可能な農山漁村が確立されています。

そこで生産されたものは、販売事業者や物流関連企業との連携強化により、鮮度を保った輸送が行われるなど、生産から消費までを効率的・効果的につなぐ新たな流通ルート・手法が確立し、意欲ある事業者によって、戦略的に国内外に販売されています。

農林水産物を始めとする県産品は、「世界で通用するブランド」として評価・認識され、海外でも取引されています。

安全・安心で優れた県産品が、高い付加価値をもって取引されることで、外貨の獲得が進み、農林漁業者の所得が向上しています。

## ② 国内外に誇れる魅力を備えた「あおもり ‘ツーリズム’」

世界水準のホスピタリティ<sup>※</sup>により、美しい自然景観と豊かな自然環境に育まれた食、青森ならではの風土に根付いた文化と暮らしぶり、日本を代表する夏祭りなど多彩な地域資源を生かしながら、観光客のニーズを踏まえた体験・体感メニューなど個性的なサービスが提供されています。

国内外の観光客を受け入れる環境が整備され、多くの観光客が、上質なサービスでゆったりと過ごせる「世界の中の青森」に憧れて本県を訪れています。

観光産業に携わる人々は、観光産業を生活の基盤とできる「生業」としており、県内外の人々との交流が自らの誇りや生きがいとなっています。

幅広い分野で形成される観光産業は、本県の基幹産業となっており、国内外からの投資を呼び込める産業として、多くの域内循環を生み出し、収益性が向上し、外貨獲得・雇用創出にも貢献しており、それらにより、訪れる人、働く人、地域の人々が幸せに感じ、地域全体の活性化が図られています。

※ホスピタリティ：思いやり、心からのおもてなし、という意味です。

## ③ 新たなビジネスを創る「あおもり ‘ライフ’・‘グリーン’」

ライフ（医療・健康・福祉）分野では、少子化、高齢化や人口減少に対応した子育て支援、高齢者の見守りなど、女性や高齢者などが暮らしやすい社会システムが多様な主体の連携により構築され、医療機器やいわゆる健康食品などの製造、新たなサービス関連のビジネスが創出されています。

グリーン（環境・エネルギー）分野では、県内企業を中心に、本県の地域特性を踏まえた再生可能エネルギー産業が、地域産業の一翼を担い、成長しています。

リサイクル分野を始めとする環境関連産業も定着しています。

県内企業の原子力関連産業への参入が拡大するとともに、県内における新たな産業の創出に向けて、量子科学分野<sup>※</sup>の人財育成・研究開発活動が行われています。

次世代核融合炉<sup>※</sup>の実現に向けた国際的な研究開発拠点が整備され、国内外から多くの研究者が訪れ、研究開発活動が着実に進められています。

これらの産業は雇用拡大にも役立っています。

※量子：粒子と波の性質を合わせ持った、とても小さい物質やエネルギーの単位のこと、物質を形作っている原子や、原子を形作っている小さな電子・中性子・陽子、素粒子が挙げられます。

※次世代核融合炉：核融合エネルギーの科学的・技術的可能性について、実験炉の建設・運転を通じて実証するITER計画の次の段階として、核融合エネルギーの発電を実証する原型炉です。

## ○ 多様な「しごと」にチャレンジできる青森県

持てる技術や農林水産物、観光、エネルギーなどの豊富な地域資源を生かし、創業者や事業承継者によって多様な「しごと」が生み出されています。

県内企業は、新製品開発や新事業展開を活発に行い、国内外の市場で商品やサービスが支持されるとともに、収益性が向上し、安定した経営が行われています。

本県の全方位的な海上アプローチの良さと物流拠点としてのポテンシャルを生かし、意欲ある事業者が海外ビジネスにチャレンジしています。

そして、豊富な地域資源や高度な能力を持った人財などに魅力を感じた国内外の企業が積極的に本県へ新規参入しています。

## ○ 人々が行き交い、多様な働き方を選択できる青森県

AIやIoTなどのICT分野における新技術などを活用しながら、若者や女性、高齢者など、誰もが働きやすい環境が整備され、多様な働き方が可能となり、新たな価値を発信し、生活の基盤となる魅力的な職場が数多く生み出されることで、県内外から多くの人財が集まっています。

国内外をつなぐ陸・海・空の交通ネットワークや情報通信基盤の整備が進み、本県と道南地域を一つの圏域と捉える津軽海峡交流圏の圏域内で、観光・ビジネスを始めとする様々な分野での交流が深まり、国内外との交流が活発になっています。

### 政策1 アグリ分野の持続的成長

競争力のある県産品づくりや輸出など成長分野での販売強化に取り組むとともに、新たなビジネス創出につながるイノベーションを引き起こし、農林水産業の収益力強化に取り組みます。

また、農林水産業の成長を支える多様な経営体の育成や次代を担う農林漁業者の確保・育成などを通じ、地域課題を共助・共存の仕組みで克服していく活力ある農山漁村づくりに取り組みます。

### 施策1 消費動向の変化を見据えた販売戦略の展開

マーケットが求めるモノを生産・製造・販売することで県産品の一層のブランド化を図るとともに、国内外への効果的な情報発信や販促活動、販路開拓により、生産者・流通関係者・消費者の三方よしの販売戦略を展開します。また、多様な分野と連携した地産地消の取組や販売も見据えた6次産業化の取組を推進します。

## 【主な取組】

- ・安全・安心に優れ、高いブランド価値を備えた商品づくりを通じ、食品産業のレベルアップに取り組みます。
- ・マスメディアやSNSなど様々な媒体を活用し、食と観光の連携も意識しながら、国内外のターゲットに応じた、青森ファンを増やすための効果的な情報発信に取り組みます。
- ・中食市場など成長分野における戦略的な販売促進活動を展開しながら、これまで国内外で培ってきた販売ネットワークの維持・強化に取り組みます。
- ・「A! Premium」流通サービスの活用などロジスティクス<sup>※</sup>課題の改善による更なる販路開拓に取り組みます。
- ・観光、教育、福祉など多様な分野との連携による地元の「食」を活用した取組を進めることにより、地産地消による消費拡大に取り組みます。
- ・県産食材のニーズを踏まえた中間加工分野の強化や、中核となる受託加工業者の育成などを通じた農商工連携の充実により、「地域の6次産業化」の取組を促進します。

※ロジスティクス：もともと武器、弾薬、食料、燃料を前線に補給する「兵 站」<sup>へいたん</sup>を物的流通にあてはめ、原材料の調達、生産、補完、販売、情報などの全体的な流れを統合的なシステムとして動かすことです。

## 施策2 経済成長が著しいアジアなどへの青森県産品の輸出促進

人的ネットワークを構築している東アジアや、富裕層・中間層の急速な拡大と更なる経済成長が見込まれる東南アジアを中心に、戦略的な輸出を促進し、輸出に取り組む意欲的な担い手の育成を推進します。

## 【主な取組】

- ・輸出先の市場ニーズや流通環境等を把握し、関係団体と連携しながら、県産品の販路開拓や取引の維持・拡大に取り組みます。
- ・「A! Premium」流通サービスの活用など輸出先のニーズに応じた県産品の商品力・ブランド力の向上に取り組みます。
- ・県産品の輸出に取り組む担い手の育成を推進します。

### 施策3 安全・安心で優れた青森県産品づくり

地域の実情に応じた生産技術の開発や活用・普及などを推進することで、高品質な農林水産品の生産体制の維持・強化を図ります。また、消費者から信頼される安全・安心な生産管理体制を確立します。

#### 【主な取組】

- ・ 地域の実情を踏まえながら、高品質な農林水産品の生産に資する技術開発に取り組みます。
- ・ 新技術や既存優良技術の活用・普及による質の高い農林水産品の生産体制の強化に取り組みます。
- ・ ICTなどを活用したつくり育てる漁業や資源管理型漁業を推進します。
- ・ 農業者の経営形態に応じたきめ細かいフォローアップを通じて、GAP<sup>※</sup>など消費者から安全・安心で信頼される取組を推進します。
- ・ HACCP<sup>※</sup>に基づく衛生管理の推進による食品安全の向上に取り組みます。
- ・ 農地の大区画化や高収益作物への転換に対応した生産基盤の整備を進めます。
- ・ 担い手への農地の集積・集約化、遊休農地の発生防止と解消に取り組みます。

※GAP：Good Agricultural Practiceの略称で、農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための農業生産工程管理の取組のことです。

※HACCP：Hazard Analysis and Critical Control Pointの略称で、食品等事業者自らが食中毒菌汚染や異物混入等の危害要因（ハザード）を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法のことです。

### 施策4 連携・協働・交流による活力ある農山漁村づくり

多様な経営体の育成を図り、「地域経営」のレベルアップを推進し、他分野との連携・協働を促進することで、活力ある農山漁村の維持・発展をめざします。

#### 【主な取組】

- ・ 農山漁村の「地域経営」の取組拡大とレベルアップに取り組みます。

- ・就業環境の整備や円滑な経営発展をめざし、集落営農組織の法人化を更に促進します。
- ・農山漁村において本県ならではの伝統的な生活体験と地域住民との交流を楽しむ「農泊」を中心としたグリーン・ツーリズムを展開し、交流人口の拡大による地域の活性化を図ります。
- ・高齢者や障害者などが就農しやすい環境づくりを始め、多様な分野との連携・協働による地域の活性化を図ります。

## 施策5 農林水産業の成長と共生社会を支える人財育成

質の高い農林水産品の生産を担う若手農業者や女性起業家などの確保・育成の取組を強化し、持続可能な農山漁村の礎を確かなものとしめます。

### 【主な取組】

- ・就農相談や各種研修の実施を通じて新規参入の促進に取り組むなど、次代を担う若手を中心に、本県の農林水産業の中核となる農林漁業者の確保・育成を進めます。
- ・農山漁村の地域のマネジメントを担う人財の育成に取り組めます。
- ・次世代への継承の視点を持って、農山漁村における女性の経営参画や女性リーダーの育成、農山漁村の女性起業家の経営力向上に取り組めます。

## 政策2 世界から選ばれる「あおもりツーリズム」の推進

滞在時間の増加と滞在の質の向上による観光消費額の拡大を図るため、生産性や収益性の向上に取り組み、本県観光産業が、国内外から高く評価され、「投資を呼び込む」産業となることをめざします。

多彩な地域資源を生かしたコンテンツづくりやターゲットに応じた戦略的な情報発信、国内外の観光客が満足し、繰り返し訪れたいくなるような受入環境の整備に取り組めます。

### 施策1 観光産業の基幹産業化

外貨獲得・雇用創出を促す好循環の形成に向けて、観光で稼ぐ人財を発掘・育成し、多様な人財の連携による観光地域づくりを推進します。  
また、観光事業者の収益性の向上を図るため、観光客の多様なニーズに対応し、国内外の観光客に上質なサービスを提供できる環境を整備することで、観光産業の競争力を強化します。

### 【主な取組】

- ・関係者が連携した観光地域づくりを推進します。
- ・旅行形態の変化や外国人観光客の増加等をチャンスと捉えた、地域で稼ぐ人財の発掘・育成を進めます。
- ・観光客のニーズを把握するための地域におけるマーケティング機能を強化します。
- ・冬季誘客の促進を含め、通年観光の推進により、観光産業の経営基盤を強化します。

## 施策2 魅力あるコンテンツづくりと戦略的な情報発信

美しい自然景観と豊かな自然環境に育まれた食、本県ならではの風土に根付いた文化と暮らしぶり、日本を代表する夏祭りなど多彩な地域資源を生かしたコンテンツづくりとターゲットに応じた戦略的な情報発信に一体的に取り組みます。

### 【主な取組】

- ・世界自然遺産白神山地や世界文化遺産登録をめざす「北海道・北東北の縄文遺跡群」を始め、本県の強みである自然環境や食、歴史・文化、魅力的な人財などの地域の特性を生かしたコンテンツづくりを推進します。
- ・魅力的なコンテンツをつなぎあわせ、観光客のニーズに応え、青森でしかできない、本県ならではの着地型旅行商品<sup>※</sup>の造成を促進します。
- ・多彩な観光資源を効果的に活用したグリーン・ツーリズム、エコツーリズム<sup>※</sup>、産業観光<sup>※</sup>、スポーツツーリズム<sup>※</sup>などのテーマ別観光や滞在型観光を推進します。
- ・マスメディアやSNSなどの様々な媒体やネットワークの活用により、国内外のターゲットに応じた効果的な情報発信を進めます。

※着地型旅行商品：旅行者を受け入れる地域（着地側）が、その地域でお勧めの観光資源を基にして企画・運営する旅行商品のことです。

※エコツーリズム：自然環境や歴史文化を損なうことなく、地域ぐるみで自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることにより、その価値や大切さが理解され、保全につながっていくことをめざしていく旅行スタイルのことです。

※産業観光：歴史的・文化的に価値ある工場や機械などの産業文化財や産業製品を通じて、ものづくりの心に触れることを目的とした旅行スタイルのことです。

※スポーツツーリズム：プロスポーツなどの観戦や、マラソン、ウォーキングなどのスポーツイベントへの参加を目的とし、開催地周辺の観光とを組み合わせた旅行スタイルのことです。

### 施策3 誘客促進のための受入環境の整備

観光客の多様なニーズに対応しながら、国内外の観光客が満足し、安心して過ごすことができる環境づくりを促進します。

#### 【主な取組】

- ・観光施設における多言語対応や先端技術を活用した観光案内機能の充実を促進します。
- ・キャッシュレス<sup>\*</sup>機能の普及・拡大や免税店の新規開設を促進します。
- ・交通・情報通信基盤を効果的に活用し、多様な交通手段の組合せによる目的地へのアクセス向上や交通情報の検索機能の充実などの利便性の向上を促進します。
- ・遊歩道やトイレなど観光関連施設の受入環境の充実・改善を促進します。
- ・国内外からの観光客の安全・安心を確保する環境づくりを促進します。

※キャッシュレス：現金（紙幣・貨幣）を使用しなくてもよい状態を指し、主な支払手段としては、電子マネー、デビットカード、モバイルウォレット、クレジットカードが挙げられます。

### 施策4 国内誘客の強化・推進

旅行形態の変化を踏まえ、交通事業者や旅行会社などと連携しながら、戦略的な誘客活動を展開します。

#### 【主な取組】

- ・個人旅行者の増加などの旅行形態の変化を的確に捉えた誘客を促進します。
- ・エリアや年代別の特性を踏まえた効果的な誘客を促進します。
- ・道南地域や東北各県と連携した広域周遊観光を推進します。
- ・県民に青森の魅力への気付きや誇りを喚起する域内観光を推進します。

### 施策5 海外からの誘客の強化・推進

国・地域別のニーズを捉えた戦略的な誘客活動を展開しながら、国際定期便・チャーター便と新幹線などを組み合わせた「立体観光」の推進や外国クルーズ客船の誘致強化に取り組みます。



### 【主な取組】

- ・国・地域別のニーズを捉え、ターゲットを絞った戦略的な誘客を促進します。
- ・陸路・海路・空路を組み合わせた「立体観光」の普及を推進するなど、国際定期便・チャーター便を活用した誘客を促進します。
- ・クルーズターミナルを整備する青森港を始め、外国クルーズ客船の誘致の強化に、関係団体と連携して取り組みます。

## 政策3 ライフ・グリーン分野の産業創出

人口減少の進展に伴う課題解決に対応し、ライフ（医療・健康・福祉）関連産業における新産業の創出や、地域に根ざした生活関連サービス産業の創出に取り組みます。

また、グリーン（環境・エネルギー）分野においては、本県の地域特性を生かした再生可能エネルギー産業や循環型社会を支える環境関連産業のほか、原子力関連産業の振興に取り組みます。

### 施策1 地域資源を活用したライフ分野に係る新産業の創出・育成

医工連携の推進、健康・医療関連サービスの創出、プロテオグリカンなどを活用した製品開発などの促進に取り組みます。

### 【主な取組】

- ・医療現場とものづくり現場の徹底した連携（医工連携）推進による産業の創出を図ります。
- ・幅広い業種の県内企業の参画を促進しながら、平均寿命の延伸など地域課題の解決につながる健康・医療関連サービス産業の創出を図ります。
- ・プロテオグリカン等の機能性素材を核とした研究開発を推進し、プロダクト分野における県内企業のシェア拡大に向けた販路開拓を促進します。

### 施策2 生活関連サービス産業の創出・拡大

少子化、高齢化といった人口減少に関する課題に対応した子育てや買物支援、高齢者の見守りなど、地域に根ざした生活関連サービス産業の創出に取り組みます。

### 【主な取組】

- ・商店街における買物機能再生や地域資源の活用、福祉・コミュニティ機能強化に向けた取組を推進します。
- ・商店街、農協・漁協、地域経営体、福祉・医療機関など多様な主体の連携による生活関連サービス産業の創出を進めます。

### 施策3 再生可能エネルギー産業と環境関連産業の振興

〔 太陽光、風力、バイオマス<sup>※</sup>、地熱<sup>※</sup>、地中熱<sup>※</sup>など、本県の地域特性を踏まえた再生可能エネルギー産業の振興、循環型社会を支える環境関連産業の振興を図ります。 〕

※バイオマス：石油や石炭などの化石資源を除いた動植物に由来する有機性の資源のことです。

※地熱：地下深部にある熱エネルギーを指し、発電時に二酸化炭素を排出しない再生可能エネルギーとして利用可能な資源のことです。

※地中熱：地下浅部に存在する低温の熱エネルギーのことです。年間を通じてほぼ温度の変化が見られないため、大気との温度差により、省エネルギーな冷暖房や融雪を可能にするものです。

### 【主な取組】

- ・再生可能エネルギー産業への県内事業者の参入促進に向けて、産学官金のネットワークの強化に取り組みます。
- ・地域特性を踏まえた再生可能エネルギー産業の創出に向けた県内企業の取組を促進します。
- ・循環型社会を支えるリサイクル関連産業の創出・拡大に向けた県内企業の取組を促進します。

### 施策4 原子力関連産業の振興

〔 県内企業の原子力関連産業への参入拡大を促進するとともに、新たな産業の創出に向けた人財育成と研究開発を推進します。 〕

### 【主な取組】

- ・県内企業の原子力関連産業への参入拡大を促進します。
- ・新たな産業の創出に向けて、量子科学分野の人財育成と研究開発を推進します。
- ・次世代核融合炉の実現に向けた国際的な研究拠点の形成に取り組みます。

## 政策 4 地域産業の振興による多様な「しごと」の創出

創業・起業の促進や円滑な事業承継、産学官金の連携強化、世界に打って出る意欲ある県内企業による海外ビジネス展開の推進や、本県の強みを生かした分野での戦略的な企業誘致活動の展開などを通じ、地域資源を生かした多様なしごとづくりを支え、県内企業のイノベーションを促進します。

### 施策 1 創業・起業の促進

自らのアイデアや技能を生かして創業・起業に踏み出そうとする人財のチャレンジを後押しし、起業家に寄り添った継続的なフォローアップを通じて、創業・起業の促進を図ります。

#### 【主な取組】

- ・産業支援機関などと連携しながら、起業意欲を持った人財の発掘・育成と全県的な創業気運の醸成に取り組みます。
- ・創業支援拠点を活用した創業・起業を促進します。
- ・生活の基盤とできる多様な生業づくりに向けて、創業後も含めた継続的なフォローアップに取り組みます。

### 施策 2 地域資源を生かした産業の創出・育成・継承

本県の豊富な地域資源を生かした産業の創出や県内事業者の経営革新・安定化を促すとともに、後継者不在企業の円滑な事業承継を促進する取組などを通じ、地域産業の成長・発展を図ります。

#### 【主な取組】

- ・産学官金連携の強化や研究開発の促進、I o T等の革新技術や知的財産の活用による新産業や新事業の創出を促進します。
- ・県内企業の製品やサービスに関する情報発信力や商談力の向上を推進します。
- ・産業支援機関などとの連携により、県内中小企業の経営革新・安定化を促進します。
- ・金融機関等と連携しながら、後継者不在企業の円滑な事業承継を促進する態勢の充実・強化を図ります。

### 施策3 青森から世界への戦略的グローバルビジネスの展開

海外の成長市場に対する積極的なビジネス展開を促進するため、海外ビジネス事業者の裾野拡大や意欲ある県内企業による海外ビジネス展開を促進します。

#### 【主な取組】

- ・海外ビジネスに関連する幅広い業種での取組企業の裾野拡大を推進します。
- ・重点取組分野・地域を定めた集中的な取組を推進します。
- ・意欲ある県内企業による海外ビジネス展開を促進します。
- ・県内企業と海外企業などとの商談機会の拡大に取り組みます。

### 施策4 戦略的企業誘致の推進

本県の強みを生かした分野での戦略的な企業誘致活動を行うほか、立地企業へのフォローアップにより、立地企業の定着や事業の拡大を促進します。

#### 【主な取組】

- ・本県の強みを生かした分野（成長ものづくり関連産業、農林水産関連産業、情報・クリエイティブ関連産業、物流関連産業）での戦略的な企業誘致活動を推進します。
- ・立地企業のニーズを踏まえたきめ細かいフォローアップにより、立地企業の定着や事業拡大を促進します。

### 政策5 「経済を回す」ための基盤づくり

各産業分野における労働力不足が顕在化している状況を踏まえ、潜在的な労働力の掘り起こしや各産業の実情を踏まえた生産性の向上、若者・女性の県内定着・人財還流の促進に取り組みます。

また、県民の「生業」と「生活」の好循環を支える土台となる情報通信基盤や交通基盤の整備を促進し、多様な「しごと」にチャレンジできる環境を整えます。

## 施策 1 労働力確保対策の強化

各産業分野におけるニーズや将来の見通し等を踏まえた労働力の適正配分に向けた取組を推進し、若者・女性・高齢者の視点を重視しながら、誰もが多様な働き方を選択できる職場環境の整備を促進します。

### 【主な取組】

- ・農業分野における地域の実情に応じた農業労働力補完システムの確立・普及に取り組みます。
- ・若者・女性・高齢者など、誰もが多様な働き方が選択できるよう、ワーク・ライフ・バランス<sup>\*</sup>の推進など働き方の見直しを含めた職場環境の整備を促進します。
- ・障害者や困難を有する若者など、個々の状況に応じた就労環境の整備を促進します。
- ・各産業分野におけるニーズや将来の見通し等を踏まえた労働力の適正配分に向けた取組を推進します。

※ワーク・ライフ・バランス：仕事と生活の調和。一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できることです。

## 施策 2 若者・女性の県内定着・人財還流の促進

県民、教育機関、企業・団体、市町村など各主体と連携しながら、高校生、大学生等、女性といったターゲットに応じた、本県の「暮らし」や「しごと」に関する生徒・学生・保護者・教員・県内企業の相互理解を促進する取組を強化します。

### 【主な取組】

- ・本県の魅力ある「暮らし」や「しごと」を知る機会を、ターゲットや段階に応じて提供します。
- ・生徒・学生のニーズを捉えた、県内企業の「採用力」を強化する取組を進めます。
- ・大学生にとって身近な存在である県内外大学等との連携を強化します。
- ・インターンシップ<sup>\*</sup>の実施など、関係機関との連携による生徒・学生・保護者・教員・県内企業の相互理解を促進する機会の創出を進めます。

- ・ U I J ターン希望者への効果的な情報発信と希望者のニーズを踏まえた取組を推進します。
- ・ 若年者等の早期離職防止に取り組みます。
- ・ 「高度外国人材」などの多様な知見や技術を持った外国人材について、関係機関と連携しながら、地域と共生して暮らし働いていける環境づくりや県内企業・団体等での活躍の促進を図ります。

※インターンシップ：学生・生徒が就業前に企業などで就業体験することです。

### 施策3 働きやすさや収益性を高める生産性向上対策の強化

〔 A I や I o T を始めとする I C T 分野における革新技術の活用や改善など、各産業分野の実情を踏まえた生産性の向上を促進する取組を強化することで、誰もが働きやすい環境整備や事業者の収益性向上につなげ、各産業分野の競争力強化を図ります。 〕

#### 【主な取組】

- ・ 各産業分野の実情を踏まえた I C T 分野における革新技術（A I、I o T など）の活用を促進します。
- ・ 生産工程におけるムリ・ムダ・ムラの排除や手法・手順の工夫、マルチスキル化など、各産業分野の実情を踏まえた改善の取組を促進します。
- ・ 職場全体で生産性を向上させる環境づくりを経営者に促す取組を進めます。
- ・ 社会環境の変化を捉えた産業人財の能力開発の取組を強化します。
- ・ 観光産業の競争力強化を図るため、サービス手順の見直しや省エネなど他の先進事例をベンチマークに、宿泊業を中心とした生産性向上を促す取組を更に進めます。

### 施策4 I C T 利活用の促進

〔 インターネットなど高度情報通信ネットワークを通じて流通する膨大な情報を適正で効果的に活用できる環境整備に取り組みます。 〕

#### 【主な取組】

- ・ W i - F i <sup>※</sup> 環境の整備など、革新技術の活用を支える情報通信基盤の整備を促進します。
- ・ 革新技術の活用を支える I C T 利活用人財の確保・育成を図ります。

※W i - F i：無線LANでインターネットに接続することです。

## 施策5 交流拡大を支える交通ネットワークづくり

「 様々な分野での交流を拡大するための重要なインフラである交通基盤の整備・活用を促進します。」

### 【主な取組】

- ・新幹線、飛行機、フェリーなどを活用した交通ネットワークの充実・強化を進めます。
- ・交通事業者などと連携し、新幹線駅や空港などと県内各地を結ぶ二次交通の利便性向上に取り組みます。
- ・「津軽海峡交流圏」形成に向けた道南地域との連携を進めます。
- ・交流人口の更なる拡大を見据えた青森空港・三沢空港の一層の利用促進を図ります。
- ・国際航空路線（定期便・チャーター便）や国際定期航路の維持・拡大を図ります。
- ・幹線道路ネットワークや港湾物流拠点などの整備を促進します。